

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	270600158		
法人名	社会福祉法人 福祉の里		
事業所名	ふるさと十和田		
所在地 (電話番号)	〒034-0061 青森県十和田市切田字横道100-22 (電話) 0176-25-6322		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 10月 4日	評価確定日	平成 19年 12月 18日

【情報提供票より】(平成 19年 9月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 11年 12月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8人, 非常勤 人, 常勤換算	8人

### (2) 建物概要

建物構造	木造平屋造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	12,260 円	その他の経費(月額)	2,430 円
敷金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	210 円	昼食 260 円
	夕食	310 円	おやつ 円
	または1日当たり 780 円		

### (4) 利用者の概要( 9月 1日現在)

利用者人数	8 名	男性 3 名	女性 5 名
要介護1	0 名	要介護2	3 名
要介護3	3 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢 平均	82.37 歳	最低	73 歳
		最高	93 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	十和田第一病院・浅原歯科
---------	--------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

併設施設の敷地内にあり周囲は民家が少ない農村地域であるが、季節の移り変わりを目や肌で直接感じられるような環境である。法人全体としてISOに取り組み、各マニュアルに沿った、きめ細かなケアの実施がされている。事業所内は、季節感・昔懐かしい小物等、五感や記憶を刺激するような装飾がなされ、過ごしやすい空間作りに配慮されている。法人の支援もあり職員の研修への参加意識が高く自己研鑽され、サービスの向上につなげている。
--

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価での課題となった「鍵をかけないケアの実施」については、利用者の生活動線上玄関の出入りがあまりない為、施錠されているが、他の出入り口から自由に庭に出ることができる環境にあり、職員が制限することなく共に行動し、適切な見守りや安全対策が行われている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価を全職員で行い、サービスの評価の意義や目的を理解し、改善に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4.5.6)</p> <p>運営推進会議は、平成19年6月から開催されており、今回は今回の評価結果の報告をし、更なるサービスの質の向上に活かす予定である。その後も定期的な開催が予定されている。市の運営推進会議への出席はないが、会議の報告を行いながら、事業所側からの働きかけで連携が持てるよう期待したい。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>日頃から話やすい雰囲気作りに心がけ、会話の中から要望等を汲み取り、早期対応に努めている。出された意見は職員間で話し合い、反映させている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域民生委員との関わりから、地域の行事への参加や事業所の特性を活かした地域貢献の啓蒙・普及活動の取り組みに期待したい。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人理念を基に、住み慣れた地域での生活の継続を支援するための、事業所独自の理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	申し送りや職員会議等で、日々の生活の中で理念を基にした関わりの意識づけや振り返りを行い、共有や統一を図っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域小学校の行事の参加や生徒がボランティア・気軽に遊びに来るなどの交流がある。立地的に周辺に民家がなく、法人全体としての地域との関わりはあるが、事業所独自では、現在さらなる地域との関わりを模索中である。		地域民生委員との関わりから、地域の行事への参加や事業所の力を活かした地域貢献の啓蒙・普及活動の取り組みに期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	5	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を全員で行い、サービス評価の意義や目的を理解し、改善に取り組んでいる。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	平成19年6月から運営推進会議を開催しており、サービスの質の向上に努めている。次回は、評価結果の報告をし意見をもらい、更なる向上に活かす予定である。		
6	7	市町村との連携  事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の運営推進会議への出席はなく、関わりが持てていない。必要時に連絡を取るだけとなっている。		運営推進会議の報告等行いながら、事業所側から市町村へ働きかけを行い、連携が持てるよう関係作りの取り組みに期待したい。
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用  管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	権利擁護を利用している方はおり、個々の必要性に合わせ活用している。権利擁護や成年後見人制度について内部研修も予定されている。		
8	9	虐待の防止の徹底  管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修にて、虐待についての話し合いを行い、理解や防止についての取り組みに努めているが、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会が少ない。		高齢者虐待防止関連法についての勉強会を重ね、更なる取り組みに期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>理解や納得が得られるように、十分な説明を行い、不安や疑問がないか確認している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月のホーム便りで利用者の生活ぶりを報告している。他に、面会時には声をかけたり、必要に合わせ電話連絡を行っている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>日頃から話しやすい雰囲気作りを心がけ、会話の中から要望等を汲み取るようにしている。又、満足度調査や出された意見等は話し合いを持ち、ケアに反映させている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内の他職員も、日頃から声を掛ける等の関係作りに留意しており、異動時には引継ぎに十分時間をかけ、利用者への影響が出ないように配慮されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
13	17	運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修に積極的に参加している。また、事業所独自で毎月定期的な学習会が計画されている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の他事業所との交流があり、意見の交換や交流を持ち、サービスの向上を目指している。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
15	23	馴染みながらのサービス利用  本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族等に事業所を見学してもらったり、職員が自宅へ出向く等の工夫をしながら、本人や家族が納得し安心してサービスの利用ができるようにしている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	支援する側、される側という意識を持たず、会話や声掛け等から共に協働し支えあう関係作りがされており、和やかな生活ぶりが窺える。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりの中で、利用者の行動や表情から、言葉にできない思いを把握できるよう努めている。又、意思疎通が困難な場合は、家族や関係者から情報を得ている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日頃の関わりの中から利用者や家族等の意向を確認し、介護計画に反映させている。また、職員全員で話し合い、課題の見直し等を行っている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>職員が情報を共有し、利用者の状態変化に合わせ、随時検討・見直しを行っている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者や家族の状況に合わせ、通院や外出の援助等柔軟に対応している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	40	かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の協力医のほかに、入居前からのかかりつけ医での医療の継続を支援している。又、家族と協力し受診への援助をしている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や状態に変化があった場合、随時対応を相談している。事業所として、重度化した場合や終末期のあり方についての方針が具体的に共有されていない。		事業所としての「できること・できないこと」を見極め、早い段階から重度化や終末期に向けての話し合いを行い、方針の共有・連携体制の構築に期待したい。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員が個人情報保護法の理解に努め、秘密保持の徹底が図られている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースに副って見守りながら、外出等、状況や思いに合わせて対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>利用者と一緒に採った畑の野菜を食材として調理したり、利用者が片付けや準備等のできることを一緒に行っている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>ある程度の時間は決めているが、利用者の状況や希望によって柔軟に対応している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>調理や事業所の看板作成、梅干、梅ドリンク作り等、利用者の経験や知恵を発揮できる場面作りへの支援がされている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>玄関以外にも外に出られる環境があり、いつでも自由に庭に出たり、散歩に出かけることを支援している。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を全スタッフが理解しており、身体拘束のないケアを行っている。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の行動をスタッフが何気なく見守り、制限することなく共に行動する等、安全対策に配慮し自由な暮らしを支えている。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、年2回利用者と共に避難訓練を実施している。法人で災害時の協力体制が整っている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量を毎日チェック表に記録し、職員が情報を共有し、状態に応じた支援をしている。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	事業所内で起こりえる感染症について、細かくマニュアルを作成し実行している。利用者、職員共にインフルエンザの予防接種を行ったり、ペーパータオルの使用など予防に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p>					
<p><b>(1) 居心地のよい環境づくり</b></p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>事業所全体に、季節感を取り入れたり、五感を刺激する小物の展示や口に入れても害のない植物の装飾等、きめ細かな配慮がされており、懐かしく、居心地の良い空間作りがされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者個々の思いや趣向に合わせて過ごせる空間が何箇所か用意されており、居心地よく過ごせる工夫をしている。</p>		

 は、重点項目。